

NEXT BASIC SYNTESIZER

デジタルエイジの幕を開けたオリジナルDX7。
互換性を重んじつつ飛躍的な発展をとげた、DX7II・7S。
そして今、その偉大な航跡につらなるV2、つまり
はく立ちゆく夢を盛るための新しい器に
出でゆく。シンプルにして

ALFRED STIEGLITZ
PHOTOGRAPHS & WRITINGS

*Published by the National Gallery of Art, Washington, in association with
Callaway Editions, Publishers of Fine Art Books, 421 Hudson Street, New York City 10014.*



DIGITAL PROGRAMMABLE
ALGORITHM SYNTHESIZER

V2

¥118,000

NEW 11月20日発売予定

●プレイの基本は、タッチ。V2は、イニシャルタッチコントロールが可能。しかも単なる音量変化だけではなく、フォルテでは強い音・輝かしい音、ピアノでは丸い音・愛らしい音がえられます。鍵盤の適度な弾きごたえも、楽器たる条件を満足。さらに、鍵盤を強く押しつけて音に表情をあたえるアフタータッチも装備しました。

●即、プレイ。即、エディット。V2のためにトップ・ミニピュレーターが作った音色を128プリセット。1番新しいサウンドで、すぐ演奏を楽しめます。また、イメージで音作りをキメルための「クイックエディット機能」を用意。アタック、リリース、音量、ブリリアンスが一発OKという、うれしい機能です。プリセットからの加工も、オリジナル音色の仕上げも、スピーディにどうぞ。

絶対の強みを發揮します。さらに、精密なデータ設定のためのファイン(微調整)も。加えて、全オペレータのリリースレイトをダウンさせて残響効果をプログラムするEGリバーブや、DX7II・7Sでセンセーションを呼んだマイクロチューニング機能から搭載しました。

●8音色同時発音。音源ユースもワイド。最高8音色を同時に鳴らすことが可能(計8音ポリ)。各音色の音域を設定すると、2音色スプリットはもちろん、4音色スプリットの金管アンサンブル、8音色マルチバーカッションも。スプリットさせずに2音色、3音色と重ねて使えばマルチボイスプレイが実現。ストリングスは重厚に、ソロ音色は強烈にクオリティアップ。さらに、鍵盤プレイしながら、別の音色をQXやWX7で発音させるなど、

ヴァーサタイル。完成されていながら

先端的。未来を見つめているが

後ろにも視界が広がっている――。

ネクスト・ベーシック。V2を「読む」ことは、

これからの中のシンセサイザーの基本を読むことになる。

柔軟なシステムを組むことができます。
●多彩なパフォーマンスパラメーター。複数の音色を組み合せた時(1音色でもOK)、音色の番号や同時発音数の配分、音量バランス、MIDI受信チャンネルなどをセットで記憶してくれるのが、「パフォーマンス」(本体32メモリー)。さらにクリエイティブな効果を加えるパラメーターを用意しました。オルタネイトでは、1音弾くごとに音色が交代で発音。室内楽デパートを受け渡しているようすを表現したり、和音での演奏もユニーク。インストデチューンでアンサンブル感をかもし出したり、ノートシフトでは、オクターブユニゾンなどで音の存在感をグッと高めることもできます。

●メモリーの外部メディアはRAMカートリッジ。スピーディでダイレクトな、RAMカートリッジが使えます。しかも大容量のRAM4(別売)。本体の2倍のデータ=[32ボイス、32パフォーマンス、システムセットアップ、3エフェクト×4、2マイクロチューニング、1プログラムチェンジ・テーブル]×2セットと、余裕のキャパシティ。

●先進のMIDI機能。受信プログラムチェンジ番号と音色番号を自由に対応させるアインテーブルを作成可能。V2の音色を変えることなく、送信先の音色だけを切り替えるセンド・プログラムチェンジも装備。さらに、プレイモードでデータエントリースライダーを操作して、コントロールチェンジデータを出力できるのも、ハイテクな機能です(コントロール番号1~31)。



V2用ソフトケース
SC-V ¥5,500